



横羽線 大師入路高欄外部試験施工 (比較資料例)

8-1

3年経過後の観察結果

平成26年3月31日

部 位	使用材料	鋼材防錆性能	コンクリート防汚性	施工性	膜厚	環境性	実可視時間	出来映え	工 期	観察結果
11~12	通常塗装仕様	△	△							
12~13	通常塗装仕様	△	△							
13~14	RE-X仕様	◎	◎	鋼○◎		鋼○◎				鋼○◎
14~15	大日本塗料仕様	○	○							
15~16	通常塗装仕様	△	△							

(RE-X仕様は、サビバックは4液から2液混合型に改良済み。中塗り材も変性エポキシから水性エポキシに改良済。)

初年度改修塗装後の予測比較表

平成23年2月20日

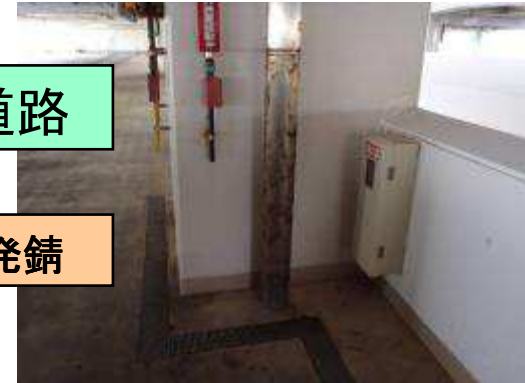
部 位	使用材料	鋼材防錆性能	コンクリート防汚性	施工性	膜厚	環境性	実可視時間	出来映え	工 期	予 想
11~12	通常塗装仕様	—	—	○	○	○	○	◎		鋼△◎
12~13	通常塗装仕様	—	—	○	○	○	○	◎		鋼△◎
13~14	RE-X仕様	△	△	鋼△◎	鋼△×	鋼△◎	△	○		鋼○◎
14~15	大日本塗料仕様	○	○	鋼◎○	○	○	○	◎		鋼○◎
15~16	通常塗装仕様	—	—	○	○	○	○	◎		鋼△◎





東京湾横断道路

ステンレス樋の発錆



従来型防錆剤
+
有機樹脂塗装



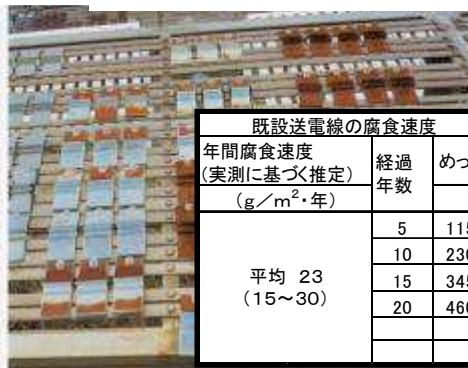
水性ジンク
+
水性シリケート塗料



塗装日 ; 平成18年12月22日

撮影日 ; 平成23年12月22日 (満5年経過)

亜鉛メッキ鋼材の防錆期間延長策に有効



海浜地区の亜鉛めっき建材の発錆例



**剥離せず
亜鉛消費抑制**

既設送電線の腐食速度		複合サイクル試験結果			
年間腐食速度 (実測に基づく推定) (g/m ² ・年)	経過 年数	めっき溶出量		タフ マックス	サイ クル数
		(g/m ²)			
平均 23 (15~30)	5	115	—	—	—
	10	230	260	≠0	50
	15	345	—	—	—
	20	460	450	≠0	100
					≠0

サビバック21(タフマックス)シリーズ暴露試験経過

千葉県千倉曝露試験場 (平成21年8月5日) 設置

27ヶ月経過後の発錆状況 (平成23年12月11日)

53ヶ月経過後の発錆状況 (平成26年12月11日)

(参考：有機樹脂塗料)

平成22年8月12日

平成23年12月11日

平成26年2月11日

タフマックス (無機塗料)

有機樹脂塗料

クロスカット部 腐蝕部の経過に依り、有機塗料は上層の溶融部が剥離する

No.13	No.8	(他社・有機系)
3ヶ月経過時点 (平成21年11月14日)		
27ヶ月経過時点 (平成23年12月11日)		
53ヶ月経過時点 (平成26年2月11日)		
タフジンケー-11 +SSA-1000 (1種ケレン)	サビバック-21×2 +ハイボシデラロ×2 +SSA-1000 (3種ケレン)	タフマックスと同時期に暴露試験を実施した他社の製品例